

## 今週（3月9日から3月13日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが堅調にみられるなか、出会いの水準は0.727～0.728%が中心となった。加重平均レートは試し取りが行われた10日(火)は0.728%、12日(木)は0.734%での着地となったが、それ以外は0.727%での推移となった。

ターム物は、ショートターム物においては付利金利以下の出会いも見られた。ロングタームは3月末越えの資金調達ニーズは引き続き強く、1カ月程度の期間では0.9%台、3カ月を超える期間では証券勢を中心に1%を超える水準での引合いが散見された。

日銀当座預金残高は財政等要因を主因に減少し、週初448兆円程度からスタートした。その後は概ね横ばい圏で推移したが、12日(木)には源泉税揚げなどにより445兆円台まで減少し13日(金)は同程度での着地が見込まれている。

### ●債券レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.75～0.76%程度の水準で推移した。  
SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン横ばい圏で推移した。

13日に実施された3M物入札は、WI取引では特段の出会いが見られていない中、結果発表後のセカンダリーでは底堅く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、不動産、電気・ガス業など複数の業態から大型発行が行われた。

市場発行残高は25兆円台半ば～26兆円程度で推移した。発行レートは引き続き0.75%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/9 (月)	52,728.72	2.185	158.88	0.727	0.751	4,480,500
3/10 (火)	54,248.39	2.180	157.69	0.728	0.752	4,484,600
3/11 (水)	55,025.37	2.155	158.20	0.727	0.752	4,487,200
3/12 (木)	54,452.96	2.180	159.00	0.734	0.753	4,460,400
3/13 (金)	53,819.61	2.240	159.20	0.728	0.753	4,462,300

## 来週（3月16日から3月20日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/16 (月)					2月の米鉱工業生産
3/17 (火)	1月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TDB1Y 3/23発行 31,000億円	20Y物 3/18発行 8,000億円		FOMC(1日目)
3/18 (水)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00~) 10-12月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 2月の貿易統計(財務省 8:50) 1月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB3M 3/23発行 47,000億円			FOMC(2日目) FRB 米経済見通し 2月の米生産者物価指数 1月の米製造業受注 2月のユーロ圏消費者物価指数改訂値
3/19 (木)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00~) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 1月の機械受注統計調査(内閣府 8:50)				ECB理事会 英中銀MPC 1月の米新規住宅販売件数 1月の米卸売売上高
3/20 (金)	春分の日				

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/16 (月) 日銀予想	800	▲ 3,400	▲ 2,600	国債補完 貸出増加	5,600 ▲ 50,000		▲ 44,400	▲ 47,000	TDB3M発行▲47,000償還43,000 個人向け発行▲8,700償還500 GX10Y▲3,000
3/17 (火) 弊社予想	300	6,000	6,300				0	6,300	
3/18 (水) 弊社予想	300	▲ 3,000	▲ 2,700				0	▲ 2,700	20Y発行▲8,000
3/19 (木) 弊社予想	▲ 1,000	17,000	16,000				0	16,000	
3/20 (金) 弊社予想			0				0	0	

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、堅調な資金調達ニーズが続き、概ね0.727%前後での推移が予想される。ターム物については、0.7%台前半から1.1%程度での取引が中心となることが予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.74~0.765%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、17日(火)に1Y物、18日(木)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、日銀金融政策決定会合(18日・19日)の結果を受けて、今後のレート水準や市場残高の動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では17日(火)に1月の第3次産業活動指数、18日(水)に日銀金融政策決定会合(1日目)、10-12月期の資金循環統計速報、2月の貿易統計、1月の石油等消費動態統計、19日(木)に日銀金融政策決定会合(2日目)、日銀総裁定例記者会見、1月の機械受注統計調査が、海外では16日(月)に2月の米国鉱工業生産、17日(火)に米国FOMC(1日目)、18日(水)に米国FOMC(2日目)、FRB米国経済見通し、2月の米国生産者物価指数、1月の米国製造業受注、2月のユーロ圏消費者物価指数改訂値、19日(木)にユーロ圏ECB理事会、英国英中銀MPC、1月の米国新規住宅販売件数、1月の米国卸売売上高が公表される予定である。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。